

番号	資料名	質問内容	回答
1	仕様書 5項	仕様書第25条「発注者が運用中の地理情報システム（SonicWeb）に取り込める形式のデータを作成」とありますが、shp形式であれば取り込めるという認識でよろしいでしょうか。	shp形式のデータであれば取り込み可能です。 なお、運用中の地理情報システム（SonicWeb）へのデータ移行に際し、データ確認等のため定義書を確認する必要がありますので、shp形式のデータと合わせ、定義書の作成・提出もしてください。
2	内訳書	基礎調査において、実測調査計画や実測調査の項目がありますが、今回、簡易手法による解析のため、水路等の調査は必要のない認識です。 実測調査は、浸水実績における浸水深を計測するものでしょうか。 ※近年の浸水実績写真を基に現場で計測するなど	仕様書の第21条において、受注者は現地踏査を行い、必要に応じて区域外流入水路等の流向調査を行うことを規定しています。 また、仕様書の第20条においては、過去の浸水実績についても確認することとしています。 それら調査・確認結果が解析に正しく反映されるよう浸水域や浸水深等について適切な実測調査が必要であるため、基礎調査の項目として実測調査及びその計画について記載したものです。 なお、調査の範囲や方法等の詳細については、協議によりその方針・方向性等を決定します。
3	内訳書	シミュレーションにおいて、現有施設能力評価や問題点等抽出の項目がありますが、簡易手法では、管路や水路等の能力評価はできません。 どの施設に対する能力評価や問題点抽出なのでしょう か？	ご認識のとおり、今業務については簡易手法でのシミュレーションのため、対象施設である「高岸都市下水路」の能力評価は不要です。 しかしながら、仕様書の第20条に規定しているとお り、過去の浸水実績について確認し、必要に応じ浸水実績範囲についてシミュレーション対象とすることとして います。その場合には、対象範囲の評価や問題点の抽出 業務が必要となることから、シミュレーションの項目と して記載したものです。 なお、調査の範囲や方法等の詳細については、協議に よりその方針・方向性等を決定します。